



凡事徹底

新緑が美しい季節になりました。新学期がスタートして、1ヶ月が過ぎました。子ども達も新しい環境に慣れ、教室には素敵な笑顔があふれ、運動場からは元気な声が聞こえてきます。頑張ろうという気持ちで学校いっぱいにあふれている今だからこそ、子ども達には基本的な生活習慣を身につけさせ、落ち着いて学習できる環境を整えていきたいと思えます。

「凡事徹底」とは、当たり前とされていることをしっかりと一所懸命にやっというということの意味です。その積み重ねが大きな違いを生み出すという意味も暗に含んでいます。自動車用品チェーン大手のイエローハット創業者の鍵山秀三郎氏は、自転車での行商からスタートした会社を年商数百億円の規模にまで育てました。そんな鍵山氏が日々実践していたのがこの「凡事徹底」です。

朝起きたら布団をたたむ、くつを揃える、家の前を掃くなど日常の生活でのちょっとしたことをきちんとやる。そして、会社のトイレ・道路などの掃除は四十年に渡ってやり続けました。掃除ひとつにも心を込め、人に喜ばれることを徹底したと聞きます。鍵山氏は、後に振り返って自身の成功は凡事徹底によるものだと語っていました。

本校は「凡事徹底」として、「あいさつ・返事・後片付け」と「靴のかかと揃え」をしっかりとやっという全校で取り組んでいます。

「あいさつ」は、「心の窓を開く第一歩」であり、人間関係を育むための大切な言葉です。「おはようございます」は敬いの心をもって相手に呼びかける言葉です。朝からお互いに言葉をかけあって一日のスタートをさせることはとても気持ちが良いものです。私自身も、毎朝の子ども達や保護者の皆様、地域の方々からの「おはようございます」のあいさつに、心が和むと共に活力が与えられ、前向きな気持ちになります。また、「ありがとう、すみません」などという感謝の心や素直な気持ちを表す言葉も、あいさつと同様に互いの良い人間関係を築く上で欠かせないことです。「あいさつあふれる学校」を、今年重点目標として取り組んでいます。

「あいさつ」「返事」「後片付け」の3点は、毎月自己評価を行っています。その結果や子ども達の様子を踏まえ、児童支援委員会にて振り返り、翌月の指導に生かしています。日々の指導の積み重ねにより、子ども達の意識がさらに高まり、凡事徹底が実践されていくことを期待しています。

「靴のかかと揃え」も重視して取り組んでいます。靴箱に靴を置く際、かかとを揃えて置きます。しっかりと揃っている時は「晴れマーク」もう少し頑張してほしい時は「曇りマーク」を表示する「靴箱天気」は、継続して取り組んでいます。定着率も高く、毎朝靴を揃えることで、心も整えられています。

これらのことは、家庭においても大切なことと思えます。生活習慣は、学校だけで身につくことではありません。家庭、地域と学校で足並みを揃えて、子ども達によりよい生活習慣を身につけさせていきたいと思っております。ご家庭や地域の方々のお声かけをお願いいたします。

